

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第39期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社ソフィアホールディングス
【英訳名】	SOPHIA HOLDINGS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 吉永 正紀
【本店の所在の場所】	東京都新宿区新宿六丁目24番20号
【電話番号】	03(6205)5330(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 諸星 幸則
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区新宿六丁目24番20号
【電話番号】	03(6205)5330(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 諸星 幸則
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第38期 第2四半期 連結累計期間	第39期 第2四半期 連結累計期間	第38期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	943,327	1,585,856	2,469,855
経常損失() (千円)	159,716	40,943	278,687
四半期(当期)純損失() (千円)	156,049	50,003	295,213
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	192,052	26,387	310,600
純資産額(千円)	1,284,990	1,136,966	1,166,549
総資産額(千円)	2,859,584	2,908,842	2,704,367
1株当たり四半期(当期)純損失 金額()(円)	7.72	2.47	14.61
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	43.5	37.8	41.6
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	115,299	110,665	201,410
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	225,935	67,721	256,089
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	70,089	36,307	201,681
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	953,358	853,931	710,618

回次	第38期 第2四半期 連結会計期間	第39期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純損失金額 ()(円)	2.82	2.50

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第38期連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため記載しておりません。

4. 第38期第2四半期連結累計期間及び第39期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

当社の連結子会社である株式会社ソフィアモバイルは、前連結会計年度において解散及び特別清算を決議しており、平成25年10月31日をもって、特別清算終了いたしました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、積極的な経済・金融政策に対する期待感から為替の円安への推移と株式市場の好転などにより、景気は緩やかに回復しつつあるものの、海外景気の下振れや、来年4月からの消費税率引き上げを背景とした消費低迷などの懸念材料があり、实体经济の回復までには至っておらず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する業界におきましても、企業のIT関連投資に対する慎重な姿勢は継続しており、受注環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、多様化する顧客のニーズに対応するためのサービス、企画及び開発等、業容拡大を目指し積極的な活動を行うとともに、収益構造の強化を目的として各事業部門の収益管理をより一層徹底し、グループ全体の業績向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が1,585百万円（前年同四半期は943百万円）となりました。損益面は、営業損失57百万円（前年同四半期は営業損失176百万円）、経常損失40百万円（前年同四半期は経常損失159百万円）、四半期純損失50百万円（前年同四半期は四半期純損失156百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[インターネット関連事業]

インターネット関連のシステム開発及び運営支援、業務コンサルティング、データセンターの運用保守等を行い、売上高は787百万円（前年同四半期は751百万円）となりました。

[ECサイト関連事業]

シューズ、ウェア等アパレル製品のインターネット通信販売等を行い、売上高は785百万円（前年同四半期は113百万円）となりました。

[モバイル事業]

当グループは平成25年3月をもってモバイル事業から撤退しており、同事業を営んでおりました連結子会社株式会社ソフィアモバイルは、平成25年3月29日付をもって解散及び特別清算を決議し、平成25年9月30日現在特別清算手続中でありましたが、平成25年10月31日をもって特別清算終了いたしました。

[デジタルプロダクツ事業]

デジタル製品（ARecX6チューナーレコーダー）の販売等を行い、売上高は1百万円（前年同四半期は0百万円）となりました。

[海外事業]

東アジア圏におけるIT事業の情報収集等を行い、グループ各社に対して事業機会の情報提供、ビジネスの仲介業務等を行い、売上高0百万円（前年同四半期は1百万円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ143百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には853百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は110百万円（前年同四半期は115百万円の使用）となりました。これは、たな卸資産及び預り金の増加額が主な要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は67百万円（前年同四半期は225百万円の使用）となりました。これは、投資有価証券の売却による収入、関係会社株式の売却による収入及び貸付による支出が主な要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は36百万円（前年同四半期は70百万円の使用）となりました。これは、長期借入金の返済による支出及びリース債務の返済による支出が主な要因であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因はありません。

(6) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

当社グループの資金状況は、主に当社が金融機関から調達することを基本とし、各子会社においては短期調達などで金融機関との関係を保っております。現在、金融機関との関係は良好であります。

(7) 経営者の問題認識と今後の方針について

当第2四半期連結累計期間において、経営者の問題認識と今後の方針について重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000,000
計	50,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	20,693,000	20,693,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	20,693,000	20,693,000	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成25年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使(旧商法に基づき発行された転換社債の転換を含む。)により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減 額(千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	20,693,000	-	2,108,000	-	250,397

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
J T V U 投資事業組合	東京都港区六本木三丁目3番10 - 1403号	13,271	64.13
株式会社ソフィアホールディングス	東京都新宿区新宿六丁目24番20号	482	2.33
山本 雅則	大阪府高槻市	406	1.96
岡三証券株式会社	東京都中央区日本橋一丁目17番6号	336	1.62
杉本 太	石川県白山市	250	1.21
有川 勝吉	東京都多摩市	179	0.87
株式会社ネクストコミュニケーションズ	東京都港区南青山二丁目11番13号	156	0.75
山本 正美	千葉県印旛郡	155	0.75
ソフィアホールディングス 役員持株会	東京都新宿区新宿六丁目24番20号	135	0.65
松井証券株式会社	東京都千代田区麹町一丁目4	120	0.58
計	-	15,490	74.86

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 482,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,167,000	20,167	-
単元未満株式	普通株式 44,000	-	-
発行済株式総数	20,693,000	-	-
総株主の議決権	-	20,167	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が3,000株(議決権の数3個)含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ソフィアホールディングス	東京都新宿区新宿六丁目24番20号	482,000	-	482,000	2.33
計	-	482,000	-	482,000	2.33

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、アーク監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	710,618	853,931
受取手形及び売掛金	477,139	490,340
商品及び製品	158,709	250,903
原材料及び貯蔵品	2,672	4,459
その他	307,591	368,343
貸倒引当金	1,464	1,861
流動資産合計	1,655,268	1,966,116
固定資産		
有形固定資産	36,023	46,931
無形固定資産		
のれん	330,246	309,731
その他	12,478	22,220
無形固定資産合計	342,724	331,951
投資その他の資産		
投資有価証券	608,929	407,002
敷金及び保証金	21,367	18,187
その他	66,961	161,797
貸倒引当金	26,908	23,144
投資その他の資産合計	670,351	563,841
固定資産合計	1,049,099	942,725
資産合計	2,704,367	2,908,842

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	213,546	324,343
短期借入金	603,739	600,000
1年内返済予定の長期借入金	172,214	179,704
未払法人税等	13,661	4,587
預り金	249,926	415,395
その他	160,881	142,960
流動負債合計	1,413,968	1,666,991
固定負債		
長期借入金	109,922	76,881
その他	13,927	28,003
固定負債合計	123,849	104,884
負債合計	1,537,818	1,771,875
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,108,000	2,108,000
資本剰余金	250,397	250,397
利益剰余金	1,144,867	1,194,871
自己株式	61,114	61,130
株主資本合計	1,152,415	1,102,395
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,008	1,748
為替換算調整勘定	3,497	4,490
その他の包括利益累計額合計	26,506	2,741
新株予約権	40,492	37,312
少数株主持分	147	0
純資産合計	1,166,549	1,136,966
負債純資産合計	2,704,367	2,908,842

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	943,327	1,585,856
売上原価	662,856	986,948
売上総利益	280,471	598,908
返品調整引当金戻入額	253	1,253
返品調整引当金繰入額	538	1,838
差引売上総利益	280,186	598,323
販売費及び一般管理費	456,413	655,359
営業損失()	176,227	57,035
営業外収益		
受取利息	11,007	10,834
受取配当金	56	321
匿名組合投資利益	13,272	21,674
その他	2,794	6,528
営業外収益合計	27,131	39,358
営業外費用		
支払利息	8,098	8,740
持分法による投資損失	-	12,782
その他	2,522	1,743
営業外費用合計	10,620	23,266
経常損失()	159,716	40,943
特別利益		
固定資産売却益	1,219	-
投資有価証券売却益	-	10,077
債務取崩益	10,034	-
新株予約権戻入益	-	3,180
特別利益合計	11,253	13,257
特別損失		
関係会社株式売却損	-	15,520
和解金	-	4,200
特別損失合計	-	19,720
税金等調整前四半期純損失()	148,463	47,406
法人税、住民税及び事業税	7,639	2,178
法人税等調整額	52	566
法人税等合計	7,586	2,745
少数株主損益調整前四半期純損失()	156,049	50,151
少数株主損失()	-	147
四半期純損失()	156,049	50,003

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	156,049	50,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,031	24,757
為替換算調整勘定	1,029	992
その他の包括利益合計	36,002	23,764
四半期包括利益	192,052	26,387
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192,052	26,239
少数株主に係る四半期包括利益	-	147

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	148,463	47,406
減価償却費	26,462	16,558
のれん償却額	2,417	20,514
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,324	3,366
受取利息及び受取配当金	11,064	11,155
支払利息	7,678	8,740
投資有価証券売却損益(は益)	-	10,077
関係会社株式売却損益(は益)	-	15,520
新株予約権戻入益	-	3,180
為替差損益(は益)	2,236	2,185
持分法による投資損益(は益)	1,161	12,782
有形固定資産売却損益(は益)	1,219	-
匿名組合投資損益(は益)	13,272	21,674
和解金	-	4,200
債務取崩益	10,034	-
売上債権の増減額(は増加)	34,087	13,200
たな卸資産の増減額(は増加)	15,682	93,980
未収消費税等の増減額(は増加)	1,999	5,346
その他の資産の増減額(は増加)	64,522	5,678
仕入債務の増減額(は減少)	5,758	110,797
未払金の増減額(は減少)	4,033	21,917
預り金の増減額(は減少)	374	165,469
未払消費税等の増減額(は減少)	4,065	3,942
その他の負債の増減額(は減少)	2,211	3,838
小計	122,617	126,002
利息及び配当金の受取額	1,857	1,775
利息の支払額	7,649	8,974
法人税等の支払額	1,731	11,886
法人税等の還付額	14,841	3,749
営業活動によるキャッシュ・フロー	115,299	110,665

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	-	144,623
関係会社株式の売却による収入	-	83,064
有形固定資産の取得による支出	6,141	678
有形固定資産の売却による収入	1,487	-
無形固定資産の取得による支出	2,910	13,636
貸付けによる支出	49,727	154,842
貸付金の回収による収入	-	2,128
匿名組合出資金の払込による支出	191,000	420,400
匿名組合出資金の払戻による収入	3,057	424,281
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	140	-
敷金の差入による支出	8,844	-
敷金の回収による収入	28,283	3,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	225,935	67,721
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	3,373	-
リース債務の返済による支出	20,045	10,739
長期借入金の返済による支出	33,399	25,551
社債の償還による支出	20,000	-
自己株式の取得による支出	18	16
財務活動によるキャッシュ・フロー	70,089	36,307
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,305	1,233
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	412,630	143,312
現金及び現金同等物の期首残高	1,365,989	710,618
現金及び現金同等物の四半期末残高	953,358	853,931

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(持分法適用の範囲の重要な変更)

当第2四半期連結会計期間より、株式会社シアーズは、当社が保有する全株式を売却したため、持分法適用の範囲から除外しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給与	156,565千円	171,235千円
貸倒引当金繰入額	2,536千円	159千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	953,358千円	853,931千円
現金及び現金同等物	953,358千円	853,931千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	インターネット 関連事業	ECサイト 関連事業	モバイル 事業	デジタル プロダクツ事業	海外事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	747,461	113,735	81,289	785	-	943,272
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,235	-	4,606	61	1,331	10,234
計	751,697	113,735	85,896	847	1,331	953,507
セグメント利益 又は損失()	21,796	4,550	100,089	3,547	8,932	86,221

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	86,221
セグメント間取引消去	114
のれんの償却額	2,417
全社損益(注)	84,858
その他の調整額	2,844
四半期連結損益計算書の営業損失	176,227

(注) 全社費用は、主に提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	インターネット 関連事業	ECサイト 関連事業	デジタル プロダクツ事業	海外事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	776,329	784,531	1,917	-	1,562,777
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,606	717	-	611	12,935
計	787,935	785,248	1,917	611	1,575,713
セグメント利益 又は損失()	9,511	20,945	1,382	500	28,553

（注）当社グループは平成25年3月をもってモバイル事業から撤退しており、同事業を営んでおりました連結子会社株式会社ソフィアモバイルは、平成25年3月29日付をもって解散及び特別清算を決議し、平成25年9月30日現在特別清算手続中でありましたが、平成25年10月31日をもって特別清算結了いたしました。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	28,553
セグメント間取引消去	4,148
のれんの償却額	20,514
全社損益（注）	68,231
その他の調整額	991
四半期連結損益計算書の営業損失	57,035

（注）全社費用は、主に提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(有価証券関係)

その他有価証券が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

その他有価証券

前連結会計年度(平成25年3月31日)

	取得原価(千円)	連結貸借対照表計上額(千円)	差額(千円)
株式	141,875	118,867	23,008

(注)非上場株式及び匿名組合出資金(連結貸借対照表計上額370,130千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表には含めておりません。

当第2四半期連結会計期間(平成25年9月30日)

	取得原価(千円)	四半期連結貸借対照表計上額(千円)	差額(千円)
株式	7,330	9,079	1,748

(注)非上場株式及び匿名組合出資金(四半期連結貸借対照表計上額387,922千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表には含めておりません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間(平成25年9月30日)

デリバティブ取引については金利スワップ取引を利用しておりますが、ヘッジ会計(金利スワップの特例処理)を適用しており、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額	7円72銭	2円47銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	156,049	50,003
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	156,049	50,003
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,211	20,210
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

株式会社ソフィアホールディングス

取締役会 御中

アーク監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 米倉 礼二 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 森岡 宏之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ソフィアホールディングスの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ソフィアホールディングス及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の平成25年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して平成24年11月13日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して平成25年6月26日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。